



# 学校だより

横浜市立六つ川台小学校

平成28年3月1日

## 3月号

ホームページアドレス <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/mutsukawadai/>

### それぞれのよさが、花開く

学校長 柳澤 潤

台小の正門を入れて右側には、毎年紅白の梅が咲き並びます。メジロが決まった時間にやってきて、花の蜜を吸っていきます。門の左側には、3本のサクランボの木があり、花芽がむくむくと膨らんできました。躍動する春の予感があります。

2月25日に今年度最後の音楽集会がありました。6年生から順に、月ごとに発表を続けてきました。今回は、1年生の発表です。「人間っていいな」の合唱と「きらきらぼし」編曲の合奏を披露しました。振り付けを交えての元気な歌声、指揮者をしっかり見つめる真剣な目、音を聴き合って正しいリズムを刻み続ける合奏に、一年間の確かな成長が感じられました。さらにうれしかったのは、発表を聴いている2年生から6年生までの聴き方がすばらしかったこと。みんな整然と座り、全身を耳と目にして一生懸命聴いていました。

発表の場は、発表する人だけで創り上げるものではありません。発表する人と聴く人が響き合ってこそ、創造的な空間になります。聴く態度が育つのは、一生懸命発表すること、一生懸命聴くことの積み重ねです。高学年の姿をモデルにして、子どもたち一人ひとりの聴く態度が大きく育ったと感じます。上手に聴く姿は、台小の子どもたちの一体感につながっています。

一月、二月は、個別級の学習発表会、4年生の「10さいを祝おう2分の1成人式」、1年生の音楽集会での発表と、学習の成果を見ていただく機会が続きました。発表の場があることは、子どもたちを鍛えます。練習を重ね、それぞれのよさが花開き、立派な発表を披露することができました。保護者からは、心温まる感想もいただきました。

三月は、6年生にとって小学校生活最後の大きな行事、卒業式があります。6年間の成長を発表する場ともいえます。ある児童は、保護者に向けたメッセージの中に『この12年間、私の世話をしてくれてありがとう。これから最低でも8年以上はお世話になりますが、力の限りがんばるので、一緒にいてください。いつかこの恩が返せるくらいの立派な大人になって、恩を返します。それまではこの言葉と気持ちだけの「ありがとう」を受け取ってください』と記しています。卒業まで、あと15日間。みんなに「ありがとう」の気持ちが伝わる卒業式を、みんなで作っていきます。そして、台小の「顔」になった6年生一人ひとりの門出をみんなで祝福したいです。

創立40周年の平成27年度は、いよいよ最後の月となりました。地域・保護者の皆様、本年度も大変お世話になりました。皆様の励まし、応援に心から感謝を申し上げます。